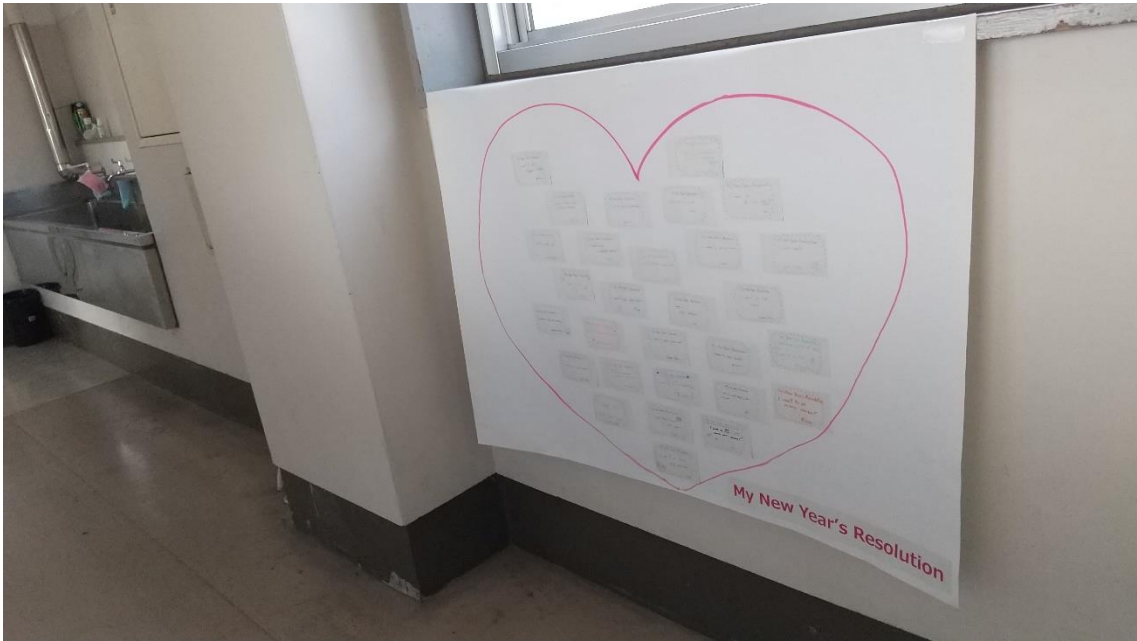
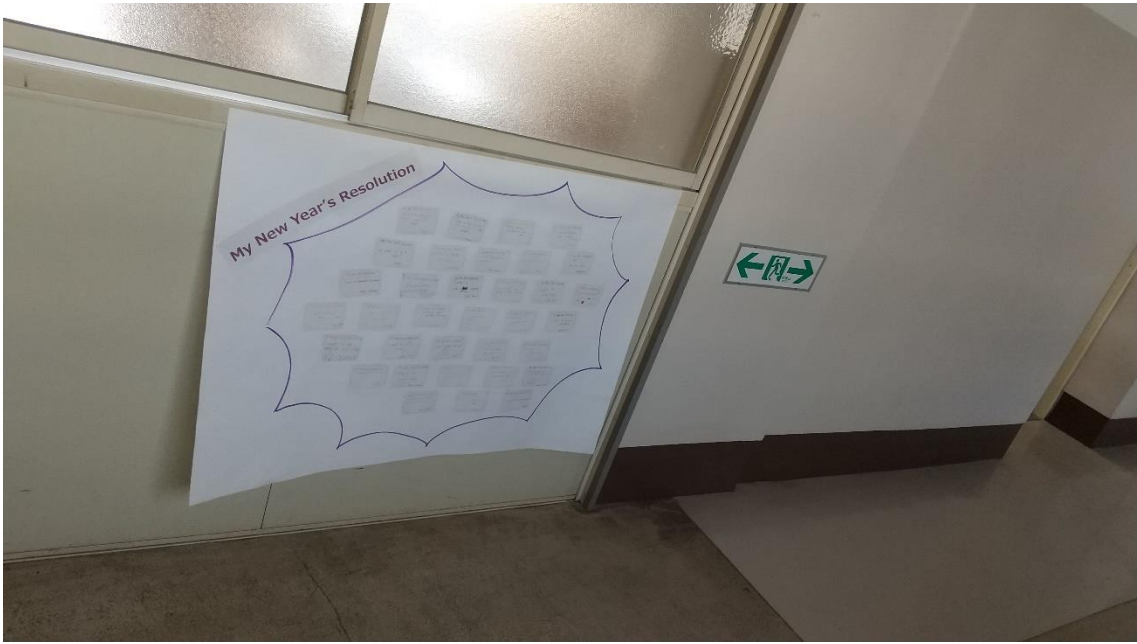


My New Year's Resolution

3学年の教室の廊下には、My New Year's Resolution（わたしの新年の決意）が掲示されています。



3学期始業式（1月10日（火）） 校長挨拶

令和五年、新しい年が始まりました。

「はじめよければすべてよし」

何事もはじめが肝心です。

よいスタートを切りましょう。

令和四年度三学期が始まりました。

三学期は学年のまとめです。

「終わりよければすべてよし」

何事も終わりが肝心です。

令和四年度のよい締めくくりをしましょう。

三学期はまた、進級、卒業に向けた時期でもあります。

「備えあれば憂いなし」

何事も準備が八割。

一、二年生の皆さんは新しい学年に向けて、

三年生は新しい進路先に向けて、しっかり準備しましょう。

新しい景色を目指して、さらなる高みへ。

新しい風を吹かせよう。

輝く未来に向かって頑張れ、いわき湯高生。

2学期終業式（12月16日（金）） 校長挨拶

青春とは人生のある期間ではなく、心の持ちかたを言う。

薔薇の面差し、紅の唇、しなやかな手足ではなく、たくましい意思、豊かな想像力、炎える情熱をさす。

青春とは人生の深い泉の清新さをいう。

サムエル・ウルマンの有名な詩「青春」の一節を、いわき湯本高校の生徒に置き換えれば、次のようになるでしょう。

青春とは、「ありがとう」と言える・言ってもらえる新しい学校づくりを通して、校訓「自立」「友愛」「創造」という三つの力を身につけ、地域を支える核と

なって活躍する人となり、一人ひとりの夢を実現する「新しい自分」づくりにつなげようとする心の持ちかた、つまり、「いわき湯本高校」という「新しい風」を吹かせようという心の持ちかたを言う。

以上を踏まえ、いわき湯本高校として最初の一年を振り返ってみましょう。

部・委員会活動については、水泳部、写真部、家庭クラブ、ヨット競技が全国大会出場、陸上競技部、剣道部、サッカー部、吹奏楽部が東北大会出場を果たしました。

栄冠に輝いた部活動・委員会の頑張りを大いに称えたい。

県大会では、野球部、テニス部、弓道部、バスケットボール部、バレーボール部、卓球部、ソフトテニス部、バドミントン部、ソフトボール部が大いに活躍し、ESS部、合唱部、理科部、美術部も頑張りを見せ、フラダンス部もフラガールズ甲子園で大いに活躍しました。

日本文化部華道班・茶道班・書道班はじめ、部・委員会などが文化祭を大いに盛り上げました。

体育委員会、応援委員会、学芸員会、放送委員会、図書委員会、出版委員会、ボランティア委員会、美化委員会、保健委員会、選挙管理委員会、購買委員会、教養委員会についても、校内外の活動で頑張りを見せました。

遠野校舎の仲間とも、友愛の心で力を合わせながら、サッカー部、合唱部、バレーボール部、卓球部、バドミントン部が大会やコンクール等で活躍し、生徒会も文化祭において震災学習による交流活動を発表しました。

部・委員会については、地域のイベントに積極的に出演するだけでなく、運営ボランティアとして参加するなど、地域に貢献する活動もしっかり取り組みました。

学校行事等については、始業式、開校式、文化祭には遠野校舎の生徒も集いました。

いわき湯本高校として最初の入学式を行い、東北大会壮行会や進路講演会では、久しぶりに全校生が一堂に会しました。

東北大会壮行会は二回開き、新しい校歌もみんなで歌いました。

昨年度、コロナ禍のため思うように実施できなかった学校行事についても、感染症対策との両立を図るという方針のもと、文化祭「湯の泉祭」や球技大会については内容変更や規模縮小等をしながらか実施し、修学旅行や遠足などについては予定通り実施しました。

うまくいかなかったことやトラブルになったこともあったでしょう。

つらく、悲しいこともあったでしょう。

涙もあったでしょう。

しかし、ピンチはチャンス。

さまざまな困難に向き合い、一つ一つ乗り越えていく中で、喜びや楽しさ、達成感や一体感などを味わったのではないのでしょうか。

それが成長するということ、大人になるということでしょう。

いわき湯本高校という新しい風を吹かせたい。

そういう思いで、学校一丸となってさまざまなことに取り組んだ結果、コロナ禍のため止まっていた時計の針が再び動き出したかのように、部活動・委員会活動や学校行事などで学び舎が華やいだ、そういう一年だったと思います。

学力向上・進路実現については、三年生が、日々の授業を中心に、地域を学びのフィールドとした探究学習、課外や模試、面接・小論文・作文指導、出前講座などにしっかり取り組み、進学・就職という、それぞれの進路実現に向けて、着実に努力を重ねています。

目標実現に向けて頑張っている姿、一つ一つ栄冠を手にしていく姿は、二年生にとって一年後の、一年生にとって二年後の、自分たちのあるべき姿であり、この意味において、三年生の真剣さは、二年生・一年生のロールモデルとなっています。

進路実現に向けた情熱の炎は、先輩から後輩のハートに受け継がれたと信じています。

いわき湯本高校としての最初の一年、生徒一人ひとりが勉強を大切に、部活動・委員会活動や学校行事などに青春の汗を流し、人間性を磨き、よく頑張っています。

生徒一人ひとりの頑張り・奮闘努力、青春の汗と涙が、いわき湯本高校という新しい学校の歩み・伝統をつくっています。

青春を生きるいわき湯高生に対し、「ブラボー！」

また、一生懸命頑張る・努力する生徒一人ひとりに、心を込めて・力の限り・粘り強く・愛情たっぷりに支えている、いわき湯本高校のすべての教職員の頑張り・奮闘努力に感服・敬服します。

今、いわき湯本高校という「新しい風」が吹いているのを感じます。

これからも「新しい風」をさわやかに吹かせたい。

そのためにも、いわき湯本高校の生徒一人ひとりが「新しい風」を吹かせようという心の持ちかたを大切に、青春時代を充実したものにすることを期待しています。

来年も「ブラボー！」と言える一年でありますように。

輝く未来に向かって頑張れ、いわき湯高生。